



幼児教育学科3年 保育実習Ⅰ(保)報告会!!

12日間の実習を終え、実習事後指導として、実習報告会を行いました。各自自分たちの学びや気づきをたくさん話してくれて、みんなでお互いの成長を感じ合うことができました。残りの実習も頑張っていきましょう！

こども学科2年 教育実習Ⅰ こども学科3年 教育実習Ⅱ 無事終了!!

こども学科2年生は初めての实習、こども学科3年生は学校生活最後の実習でした!!

2年生は、実習前の不安や緊張で押しつぶされそうな様子とは裏腹に、堂々と笑顔で子どもたちと関わっている姿がとても印象的でした!! この10日間、様々な経験や学びで大きく成長できたことと思います😊

3年生は最後の実習でした。今までの実習や授業などを通して学んだ知識は、何物にも代え難い貴重な経験となったでしょう!! 就職後にも活かしていってほしいと思います！



12月の予定

6日(土) 科目終了試験 9日(火) 1年レポート×切日
10日(水) 2年レポート×切日
11日(木) 3年、4年レポート×切日
13日(土) クリスマスピアノ発表会
18日(木) オープンキャンパス
19日(金) 第4回入学選考日 23日(火) 全校集会・自治会活動
冬期休業日・・・2025年12月27日12:00～2026年1月5日

こども学科1年 村山蓮君 九州ブロック専門学校体育大会

3位
入賞!!

熊本県専各連スポーツ大会卓球男子個人で優勝した村山蓮君(こども学科1年)が、11月14日に佐賀県で行われた九州ブロック大会で、見事『3位』に入賞しました!!

九州大会での入賞は日総初の快挙です！
蓮君！おめでとう!!



幼児教育学科1年 クリスマス飾り製作★

もうすぐクリスマスですね☆
日総もクリスマスツリーを立て、
幼児教育学科1年のみんなが紙コップで作った、トナカイ、サンタクロース、
ツリーのオーナメントを飾りつけました♪
とってもかわいい作品ができました!!



幼児教育学科2年 模擬保育頑張ってます!!



2026年2月9日から始まる初めての教育実習に向けて、一人ずつ模擬保育を行っています。
子どもたちの発達段階を踏まえ、安全で楽しい活動を提供できるよう色々とアイデアを振り絞りながら頑張っています。先輩たちにも見てもらい、後輩たちの成長のために沢山のアドバイスも伝えてくれてとても充実した時間となっています😊

本校講義「特別ニーズ教育論」校外学習 熊本県立荒尾支援学校視察研修実施

幼児教育学科2年の講義、「特別ニーズ教育論」(講師：中山龍也先生)の校外学習として、荒尾支援学校を訪問しました。

学生たちは3班に分かれ、小学部、中学部、重複障害学級を見学させていただきました。
知的障害特別支援学校の教育課程や児童生徒の活動の様子、職員の方々の児童生徒への関わり方など多くのことを学ぶことができ、とても貴重な経験となったようです。
荒尾支援学校の皆様、講師の中山先生、本当にありがとうございました!

玉名大俵まつり大健闘!!

11月23日(日)に開催された玉名大俵まつりに、今年も本校から各学年の有志が集まり、男女それぞれ1チームずつ参加しました!
両チーム惜しくも決勝進出はなりませんでした。チーム一丸となって声を掛け合いながらひたむきに戦う姿はとても素晴らしかったです✨!! 来年こそ決勝進出を目指そう!!



今年の玉世姫に、本校4年の中山結香子さんが選ばれました

子育て支援センター 『ログさんち』お誕生日会 1歳のお友達!!おめでとう

今年8月より本校内で開所されている『子育て支援センターログさんち』で開催された、11月生まれのお誕生日会に幼児教育学科3年の4名が、子どもたちと一緒に楽しめるような催しを準備して参加しました★

1歳のお友達!!元気に育ってね♡!!



校長室の窓から

音

文責 高木

先日開催された、くまもとマスタースジャパンバドミントン大会に招待され観戦してきた。この大会観戦は3度目になるが、何度観戦しても、世界のトップを競う選手達の卓越したプレーには感動させられる。

通常、バドミントンに限らず世界大会観戦ともなると、TV視聴が主にならざるを得ない。近年は通信機器の発達も日進月歩。ゴールが決まればすぐに、再生画面がアップで、しかもスロー編集までされ映し出される。このことに慣れてしまっている私は、ついつい目の前のトッププレイヤーのスマッシュが決まってもそのスピードについて行けず再生画面を探そうとしてしまう。しかし、TV画面からは伝わらない本物のプレーの妙はなんといっても、その「音」だと思う。あのシャトルを打つ音。スマッシュの音、ストップする時のシューズの音などなど、こればかりは、あの体育館の同じ空間でしか体感出来ない。

このことは、以前、国際フィギア大会を観戦したときも感じていた。あの優雅な動きの中でもジャンプする前の氷を捉えるエッジの「ジャツ」という音、ジャンプして降りた時の「ドンツ」という音。正しく、あの空間でしか味わえない。

学び体感出来るそのような空間に、今後も積極的に、足を運びたいと思う。